

社団法人日本新体操連盟

平成18年度第1回理事会議事録

1. 会議名： 平成18年度第1回理事会
2. 日時： 平成18年4月18日（火）18時30分～21時00分
3. 場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「麻布霞会館・203号室」
4. 構成員現在数： 22名
5. 出席役員： 二木 英徳（会長） 朝倉 正昭（副会長） 荒井 隆（専務理事）
関田史保子（常務理事） 石崎 朔子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事）
秋山エリカ（理事） 池田真喜子（理事） 谷口 裕代（理事）
橋本 千波（理事）
高橋 明（副会長） 福本 隆（副会長） 上村 郁子（理事）
佐藤 昌子（理事） 崇島 慎一（理事） 藤島八重子（理事）
山崎 浩子（理事） 田中 元（監事） 横田 章（監事）
以上19名（うち委任状出席9名）
6. 欠席役員： 岩本 晃（理事） 岡 久留実（理事） 谷原 誠（理事）
以上3名
7. 議案：
報告事項
報告事項1 文部科学省実施検査報告（定款第47条関連項目）
報告事項2 その他
決議事項
第1号議案 平成18年度第1回総会について（定款第5、29、39条関連事項）
第2号議案 第15回全日本新体操クラブ選手権「全日本進出資格」について
（定款第5条関連事項）
第3号議案 その他
8. 議事の経過及び結果
 - (1) 議長による開会宣言
（社）日本新体操連盟・定款第24条第2項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。
 - (2) 議事録署名人の選出
定款第32条により、議長は議事録署名人を荒井隆専務理事と秋山エリカ理事にする事を議場に諮り承認された。
 - (3) 定足数の確認
定款第25条の定めにより、総会出席者数委任状含めて17名であることが池田理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
 - (4) 報告事項
報告事項1 文部科学省実施検査報告について（定款第47条関連項目）
議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。
2006年3月23日木曜日、本連盟事務局において、文部科学省職員2名が来訪し「実施検査」が実施された。下記内容で評価を受けたことが報告された。
 1. 全体的評価「たいへん優秀」
 2. 役員改選理事会「役員改選理事会の形式を整え、議事録を作成する。」
 3. 理事の割合「現状問題ないが、同一業界が半数を超えないように注意する。」
 4. 会議委任状「署名、押印をチェックし、不備、未提出の場合は再請求し確実にを行うこと。」

5. 議事録作成「委任状提出者は現状欠席者扱いされているが、出席者扱いにする。」
 6. 登記「毎年、資産変更登記を行う。」
 7. 情報公開「ホームページ上でも定款、役員名簿、社員名簿、事業計画、収支予算書、事業報告書、収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の全てを公開する」
 8. 収支予算書形式「前年実績ではなく、前年予算を記載して作成する」
 9. 収支計算書形式「予算差額を記載する。」
 10. 貸借対象表形式「基本金項目を追加する。」
- 報告後、改善することが確認された。

報告事項 2 その他について

その他については報告されなかった。

(5) 決議事項

第 1 号議案 平成 18 年度第 1 回総会について（定款第 5、29、39 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

4 月 25 日（火）に平成 17 年度の事業報告と収支決算を決定する平成 18 年度第 1 回総会資料が提出された。

①平成 17 年度加盟クラブ状況報告資料

加盟クラブ、登録選手・指導者・審判、愛好者数が報告された。

②平成 17 年度事業報告資料

各事業開催日、成績、参加者数等が報告された

③平成 17 年度収支決算報告資料

文部科学省指定形式に書類作成方法を変更して作成した旨が説明された。

④平成 17 年度表彰資料

平成 17 年第 4 回理事会にて決定した内容にて報告する旨が説明された。

以上資料を確認後平成 18 年度第 1 回総会に資料を提出することが承認された。

第 2 号議案 第 15 回全日本新体操クラブ選手権「全日本進出資格」について

（定款第 5 条関連事項）

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

「全日本新体操選手権」では 15 才以上の選手であればシニア／ジュニア関わらず参加できるため、15 才の選手はシニアあるいはジュニアを選択して出場する「全日本新体操クラブ選手権」から「全日本新体操選手権」への進出方法を検討する必要がある。検討した結果、下記内容にて決定、承認された。

①「全日本新体操クラブ選手権」でシニアならびにジュニアの各個人総合で得た得点を個人得点とする。

②15 才以上で個人得点上位 12 名が「全日本新体操選手権」出場権を獲得する。

第 3 号議案 その他について

①橋本理事から平成 18 年度実施される「バッヂテスト」について説明がされた。

「バッヂテスト」認定員の認定方法として、現行の指導者育成セミナー「上級チャイルド」を 3 段階に分けた上で、認定員を目指す者は指導者と同じセミナーを受講した後、認定員コースへ進むことができる制度の説明がされたが、指導者セミナー専門の受講者にとっては 3 段階に分けることが不利益になる点が考えられたので、「上級チャイルド」を 3 段階に分けずに実施する方法を検討することとなった。

②その他は審議されなかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 18 年 4 月 18 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 18 年度第 1 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 荒 井 隆

同 秋 山 エ リ カ